

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | |
|---------------|--|
| 化学品の名称(製品名) | ノリベスト 粉材 |
| 会社名 | クラレノリタケデンタル株式会社 |
| 住所 | 東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー |
| 担当部署 | 品質保証室 |
| 電話番号 | 03-6701-1730 |
| Fax番号 | 03-6701-1805 |
| 緊急連絡先 | 0120-330-922 (月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00) 050-3499-2717 (上記フリーダイヤル営業時間外) |
| 推奨用途および使用上の制限 | 歯科用高温模型材 |
| 整理番号 | 863-304101P |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-----------|------------------|------|
| 物理化学的危険 | GHS分類に該当する項目はない | |
| 健康に対する有害性 | 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分2A |
| | 生殖細胞変異原性 | 区分2 |
| | 発がん性 | 区分1A |
| | 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 区分1 |
| 環境に対する有害性 | GHS分類に該当する項目はない | |

シンボル



注意喚起語 危険有害性情報

危険
強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

| | |
|------|--|
| 安全対策 | 使用前に添付文書入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 個人用保護具や換気装置を使用し、曝露を避けること。 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 |
| 応急措置 | 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 目の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けること。 |
| 保管 | 高温多湿は避け、換気の良い場所で保管すること。 |
| 廃棄 | 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 |

3. 組成及び成分情報

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。

化学物質・混合物の区別 混合物

| 化学名又は一般名 | 濃度 (%) | CAS番号 | 化審法 公示番号 | 安衛法(閾値) | | PRTR法 管理番号 | 毒劇法 |
|-------------------|--------|------------|-------------|---------|-------|---------------|-----|
| | | | | 表示 | 通知 | | |
| シカ(石英):結晶質※1 | 40-50 | 14808-60-7 | 1-548 | ≥0.1% | ≥0.1% | 非該当 | 非該当 |
| シカ(クリスタライト):結晶質※2 | 10-20 | 14464-46-1 | 1-548 | ≥0.1% | ≥0.1% | 非該当 | 非該当 |
| 酸化アルミニウム※3 | 10-20 | 1344-28-1 | 1-23 | ≥1% | ≥1% | 非該当 | 非該当 |
| 酸化マグネシウム | 10-20 | 1309-48-4 | 1-465 | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| リソ酸アンモニウム | 10-20 | 7722-76-1 | 1-379 | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |

※1 発がん性:区分1A、特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)

※2 発がん性:区分1A、特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(呼吸器)

※3 特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(吸入:肺)

4. 応急措置

吸入した場合

呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、噴霧水、泡消火剤、乾燥砂、炭酸ガス

特有の危険有害性

不燃性であり、これ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業の際には、保護具(マスク、保護眼鏡、手袋等)を着用し、目、皮膚への付着を防ぎ、粉塵等の吸入を避ける。

保護具および緊急措置

回収が終わるまで、十分な換気を行う。

関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収・中和

漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化方法・機材

水(濡れた新聞紙等)で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項

全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
使用前に添付文書入手すること。
この製品を取り扱う時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

保管条件

高温多湿は避け、換気の良い場所で保管すること。

容器包装材料

オリジナルの包装袋を使用し、湿気を防ぐために封をすること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 未設定
(作業環境評価基準)

許容濃度

| | | |
|----------|-----------|--|
| 日本産業衛生学会 | 結晶質シリカ | 吸入性粉塵: 0.03mg/m ³ 、総粉塵: — |
| | 酸化アルミニウム | 吸入性粉塵: 0.5mg/m ³ 、総粉塵: 2mg/m ³ |
| | 酸化マグネシウム | 吸入性粉塵: 2mg/m ³ 、総粉塵: 8mg/m ³ |
| | リン酸アンモニウム | 吸入性粉塵: 2mg/m ³ 、総粉塵: 8mg/m ³ |
| ACGIH | 結晶質シリカ | LV-TWA: 0.025mg/m ³ |
| | 酸化アルミニウム | TLV-TWA: 1mg/m ³ |
| | 酸化マグネシウム | TLV-TWA: 10mg/m ³ |
| | リン酸アンモニウム | TLV-TWA: 10mg/m ³ |

保護具

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 呼吸用保護具 | 吸器保護具(防塵マスク)を着用する。 |
| 手の保護具 | 保護手袋(ニトリル製、塩化ビニル製など)を着用する。 |
| 眼、顔面の保護具 | 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 長袖作業衣を着用する。 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。 |

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------------------|---|
| 物理状態 | 固体粉末 |
| 色 | 灰白色 |
| 臭い | 無臭 |
| 融点・凝固点 | 情報なし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | 情報なし |
| 可燃性 | 情報なし |
| 爆発下限及び爆発上限界/可燃限界 | 情報なし |
| 引火点 | 情報なし |
| 自然発火点 | 情報なし |
| 分解温度 | 情報なし |
| pH | 中性(4~6) |
| 動粘性率 | 情報なし |
| 溶解度 | |
| 水 | リン酸アンモニウム: 水に溶解する。 酸化マグネシウム: 水にわずかに溶解し、水酸化マグネシウムとなる。 |
| 有機溶剤 | 情報なし |
| n-オクタノール/水分配係数 | 情報なし |
| 蒸気圧 | 情報なし |
| 密度及び/又は相対密度 | 3.98(酸化アルミニウム)、2.6(シリカ)、2.3(クリストバライト) |
| 相対ガス密度 | 情報なし |
| 粒子特性 | 情報なし |
| その他のデータ(放射性、かさ密度、 燃焼持続性) | 情報なし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---|
| 反応性 | 情報なし |
| 化学的安定性 | 通常の保管及び取扱では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | 酸化マグネシウム:熱分解すると有害、危険なヒュームを発生することがある。また、空気中の水分と二酸化炭素を吸収する。 酸:激しい反応。 アルミニウム粉末:熱すると、発火、爆発することがある。 五フッ化臭素:激しい反応。 三フッ化塩素:発火することがある。 ハロゲン間化合物:激しい反応。配合を避ける。 マグネシウム粉末:熱すると、発火、爆発することがある。 5塩化リン:熱すると、きらきらと発熱する。 硫黄:熱すると、発火、爆発することがある。 リン酸アンモニウム:190°Cで分解し、一部がメタリン酸アンモニウムになる。 酸化アルミニウム:酸・アルカリにごく微量溶ける。 |
| 避けるべき条件 | 上記危険有害反応性に記述のある材料と混触を避ける |
| 混触危険物質 | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし |

11. 有害性情報

成分の有害性情報

急性毒性

| | | |
|----|-----------|----------------------------------|
| 経口 | リン酸アンモニウム | ラット LD ₅₀ 5,750mg/kg |
| | 酸化アルミニウム | ラット LD ₅₀ 5,000mg/kg |
| 経皮 | リン酸アンモニウム | ラビット LD ₅₀ 7,940mg/kg |
| 吸入 | 吸入(ガス): | 加算式:区分外 |
| | 吸入(蒸気): | 加算式:区分外 |
| | 吸入(粉塵): | データなし |

皮膚腐食性/刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

呼吸器感作性

皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

誤えん有害性

| |
|----------------------------------|
| 加算式:区分外 |
| 加算式:区分2A |
| 情報なし |
| 情報なし |
| 区分2:結晶質シリカ(石英、クリストパライト) |
| 区分1A 発がんのおそれ:結晶質シリカ(石英、クリストパライト) |
| 情報なし |
| 情報なし |
| 区分1 腎臓、呼吸器、免疫系:結晶質シリカ(石英) |
| 呼吸器:結晶質シリカ(クリストパライト) |
| 情報なし |

12. 環境影響情報

成分の環境有害性情報

| | |
|-----------|------|
| 生態毒性 | 情報なし |
| 残留性・分解性 | 情報なし |
| 生体蓄積性 | 情報なし |
| 土壤中の移動性 | 情報なし |
| オゾン層への有害性 | 情報なし |

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理を行う。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者などに危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。
UN No. : 該当しない
Proper Shipping Name : -
Class : -
Packing Group : -
航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。
UN No. : 該当しない
Proper Shipping Name : -
Class : -
Packing Group : -

国内規制

陸上輸送情報 : 該当する法律に従う。
海上輸送情報 : 船舶安全法に従う。(IMOに準拠)
航空輸送情報 : 航空法に従う。(ICAOに準拠)

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

該当しない

15. 適用法令

| | |
|------------|---|
| 化審法 | 特段規制なし |
| 安衛法 | 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 : 結晶質シリカ、酸化アルミニウム |
| 化管法(PRTR法) | 非該当 |
| 毒劇法 | 非該当 |
| 消防法 | 非該当 |

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。